

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

7月20日(木)

7月20日(木)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2023

駒工生に電材寄贈

同窓会と伊那のみのわ電気工事

技能試験向けの補習授業支援

駒ケ根市の駒ケ根工業高校同窓会（鈴木正志会長）と、電気設備設計施工業みのわ電気工事（伊那市、鈴木勝社長）は19日、同校電気科生徒に電気配線用ケーブル（電材）と電材購入費用2万円を贈った。電気工事技能試験を受ける後輩を、補習授業で使う資材の提供という形で支援した。

同校は、第2種電気工事士試験に向け、2、3年生が1カ月ほど前から補習授業を毎日受講。指定されたさまざまな

回路図に沿って必要な電材を設置し完成させる形で想定問題を解いている。ただ物価高騰で電材価格はかつての2倍程度に値上がりし、生徒の費用負担も増大している状況。合格に向けさらに電材は必要となるため、同窓会とOBが支援を申し出ていた。

今回は、同窓会側が電材購入費用として2万円、みのわ電気工事が100分の電材5巻を寄贈。贈呈式で鈴木同窓会長、鈴木社長が生徒代表に

電材などを手渡した。

鈴木同窓会長は「生徒の頑張りや報いられることとして寄贈した。今後も同窓会は生徒、学校とどう関わっていく

か総合的に考えていきたい」。鈴木社長は「悔いのないよう（試験に向け）頑張ってもらいたい」と話していた。

技能試験は22日、長野市ビッグハットで実施。県内から1000人ほどが受ける予定で、同校からは3年生2人、2年生30人が受験。全国の平均合格率は50%未満だが、同校は毎年9割以上が合格しているという。



生徒代表に電材を手渡す鈴木正志同窓会長（左）と鈴木勝みのわ電気社長（右奥）

（原かおる）